

2016年度事業報告書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

特定非営利活動法人 鞆まちづくり工房

1 事業の成果

(1) 特定非営利活動に係る事業

I) 鞆地区、瀬戸内海地域の歴史的資源を活用したまちづくりの提案、

企画開発・研修・交流・情報発信事業 (定款第5条(1)-①)

①日本イコモス拡大理事会(9/10、11)

今後のまちづくりへ向け、日本イコモスの支援を得るために、日本イコモスの拡大理事会を誘致した。

日本イコモスの理事会後に、地元住民との意見交換会、懇親会が開かれ、翌日は、鞆町内を視察し、今後のまちづくりへ向け支援を依頼した。

②鞆の浦調査(10/2、1/14、1/23)

日本イコモスの支援方策を検討するため理事の苅谷氏が聞き取り調査を、長年鞆の浦の港湾調査を行ってきた日本大学の伊東氏が港湾遺産の保存に向けた調査を行う。日本イコモスの他、長年協力していただいている、石垣建造物の専門家である北垣氏が、焚場地区の石垣について当法人の松居敏雄と共に調査を行った。

引き続き、様々な専門家と協力し、保存へ向けた活動を行う。

③鞆の秋祭り (9/19、20、21)

2008年に復活させた「鞆の津ばやし」を「鞆の津ばやし保存会」に引き継いだが、三味線と踊りの保存・伝承すべく、引き続き協力して活動を継続している。

④研修・視察の受け入れ

今年も以下のとおり、近郊・遠方を問わず多くの団体や個人が、町家再生・まちづくり・住民活動・鞆の浦世界遺産訴訟裁判など、さまざまな視点で視察や研修に訪れてください、NPOはその受け入れ・案内・講演などを行なった。

「鞆裁判報告会」(4/25)、「広大教授フンク・カロリン先生 国際視察団研修25名」(5/17)、「社団法人ノオト 金野氏、藤原氏 鞆空き家視察」(6/11)、「国土交通省住

宅課大水氏、益田氏「鞆町並み保存の会」設立への支援」(6/21)、「京都女子大学 森久ゼミ研修（社会学部）」(9/4)、「日本イコモス拡大理事会 in 鞆」(9/10)、「龍谷大学安部ゼミ研修 23名」(9/16)、「苅谷先生（日本イコモス理事）鞆聞き取り調査」(10/2)、「ハウジング財団大内氏「5月ハウジング助成団体研修の打ち合わせ」」(12/1)、「せとうちDMO 金野氏、藤原氏 「古民家再生活用事業」」(12/26)、「北垣先生 焚場地区石垣調査」(1/14)、「伊東先生 鞆港調査」(1/23)、「神戸大学角松ゼミ鞆研修18名」(2/14)、共同通信取材 「憲法ルネサンス・景観権」(3/8)

⑤他会への参加・交流

講演依頼を受け、あるいは情報交換等の目的で、全国各地で開催されたさまざまなシンポジウムや勉強会に参加。鞆の浦のまちづくりについて情報発信するとともに、全国のさまざまな活動団体や住民・有識者と交流し、有意義な情報を得ることができた。

「文全教 佐賀大会」表彰授受(6/19)、「広島市立大学講義」国際学部(7/14)、「港町ネットワーク会議」神石高原町(7/19)、「全国町並み保存連盟幹事会」(9/8)、「第39回全国町並みゼミ 大内・前沢大会」(9/9)、「鞆本編集打ち合わせ」シーズプランニング(11/10)、「二馬力」宮崎駿監督訪問(11/14)、「地方を語る会」徳島県神山町(11/23)、「まちづくりシンポジウム」金光町(12/3)、「広島大学講義」(1/21)、「地方を語る2回目会議、研修」(2/6、7)、「鴨方町まちづくり」講演(2/19)

⑥鞆本（題名未定）の制作

鞆の裁判を終え、今までの保存運動やまちづくり活動をまとめた報告書を作成し、記録として残すことを目的に本の制作作業を行っている。編集にあたっては、シーズプランニングの長谷川氏、元岩波文庫の森光氏らの協力を得て、本格的な本になる予定である。

⑦媒体を通じての情報発信

ホームページやメールおよびニュースレター、Facebook などで情報発信を行ない、会員をはじめ支援・協力くださっている多くの方に広く情報を提供した。これにより、新たな交流や情報の交換が活発になってきた。今後はさらに Facebook や Twitter など情報メディアの有効活用を図ることが課題である。

II) 空家などを活用した住まい、店舗などの創出

空家バンクを促進する事業（定款第5条(1)-(3)）

① 福山藩茶屋蔵

「BEER & CAFE Gallery 茶屋蔵」として、焙煎したてのコーヒーと世界のビールを提供する店舗として活用が行われている。

また、様々なアーティストらに、コンサートやギャラリースペースとしてコラボレーションを行っている。

②鞆・町並みくろい空間

人手不足から週3日しか運営できていなかったが、新たにアルバイトを入れることで週5日の運営とし、内容ともに充実された。

③空家の活用に向けた補助金申請

城山にある「ほうき屋別荘」の修復に向け、町並み保存補助金に申請する。

茶屋蔵、ほうき屋別荘、道越浜蔵の3家屋を「農泊事業」補助事業に申請を出す。

III) 濑戸内の港町ネットワークを推進する事業 (定款第5条(1)-④)

①港町ネットワーク・瀬戸内(7/19)

近年、瀬戸内地域で連携したまちづくりや行政の活動も活発になってきたおり、所属団体も「港町ネットワーク・瀬戸内」以外の活動が増えており、「港町ネットワーク・瀬戸内」としての活動がほぼ休止している。今後の活動について、会員を一新するなど、会の運営をどのように行うか検討が必要である。

②松右衛門帆布（兵庫県高砂市）を通じた交流

鞆港を作った工楽松右衛門は、兵庫県高砂市出身で同じ瀬戸内海の港町であることから、松右衛門帆布が開発・復活させた帆布の販売を通じて、兵庫県高砂市の団体と交流・情報交換を行っている。鞆とゆかりのあるまちの団体との交流をおこなっている。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定期日時	実施予定期場所	従事者の予定期人数	受益対象者の範囲および予定期人数	支出額(円)
鞆地区、瀬戸内海地域の歴史的資源を活用したまちづくりの提案、企画開発、研修、交流、情報発信事業	「福山藩茶屋蔵」の活用、「鞆の津ばやし」踊りと三味線、その他協力事業、研修・視察の受け入れ、他会への参加・交流、媒体を通じての情報発信など	通年	福山市・鞆町内外	50名	1000名	1,853,425
空家などを活用した住まい、店舗などの創出、空家バンクを促進する事業	「福山藩茶屋蔵」の修復、「御舟宿いろは」の補修	通年	鞆町内	10名	1,000名	4,606,237
港町ネットワーク事業	幹事会・総会・交流会の開催	随時	瀬戸内地区	10名	300名	0